● ツールを活用した検討シーン ●

対策箇所の選定

事故危険箇所・地元要望箇所で対策を実施したいけど、対策内容や効果をどのように示していけば、関係者との合意形成がスムーズに進められる？

事故要因の特定

対象箇所での事故シーンを可視化して多角的な視点から要因分析することに活用！

例えば・・・

- ✓当事者の視点からみた事故シーン（カメラ視点の変更）
- ✓天候や時刻など周辺環境条件の違いによる事故シーンの再現

対策案の企画・検討

対策案による改善点や効果の共有に活用！

対策効果の検証・評価

対策案の有効性を疑似体験し、対策実施の合意形成の精度向上に活用！

例えば・・・

- ✓対策前後での車両・歩行者周辺の接近リスク表示による改善ポイントの共有
- ✓対策案の見直しポイントの洗い出し
- ✓即時的な見直し後の可視化による効率的な合意形成への活用

※WARXSS®は、高精度CG技術を利用して構築した「仮想の試験場」のパッケージです。

事故発生要因の分析、対策案の検討・効果検証などの検討事例の動画が右のQRコードからご覧いただけます。

● お問い合わせ先 ●

FUKUYAMA CONSULTANTS CO.,LTD.
福山コンサルタント
本社（福岡） 〒812-0013 福岡県福岡市博多区博多駅東3-6-18
URL https://www.fukuyamaconsul.co.jp/

担当 新規事業推進室 國分
TEL 092-471-1417
Mail kokubu@fukuyamaconsul.co.jp

事故対策分析ツールのご紹介

～効率的な検討・合意形成への活用に向けて～

事故対策検討 担当者さま

事故対策分析ツール活用のご提案

RYODEN　FUKUYAMA CONSULTANTS CO.,LTD. 福山コンサルタント　株式会社 ヴィッツ

事故発生要因の分析

担当者が抱える問題

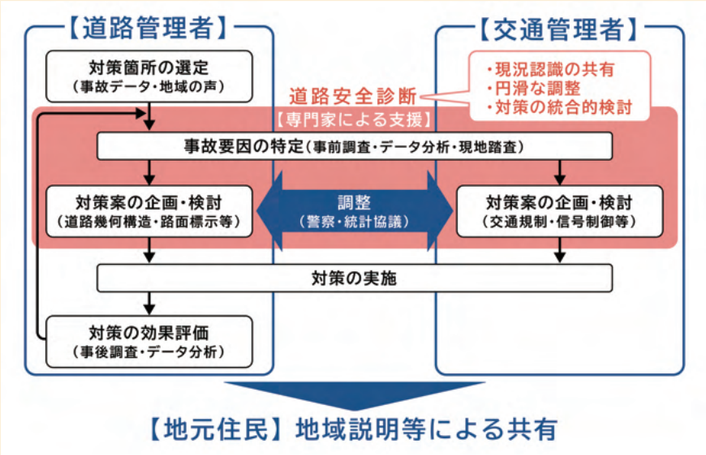
事故危険箇所の対策では、

- ●事故要因の特定
- ●対策案の企画・検討
- ●効果評価

の検討段階や結果共有など、関係者との調整が必要です。

現状、検討段階や結果共有では、平面図を用いて対応している状況ではないでしょうか。

関係者の視点の違いなどから、必ずしも調整が効率的に実施できているか問題と感じられている方も多いと思われます。



道路安全診断（事故対策検討）イメージ

本分析ツールの狙い

本商品は、これら関係者間の視点の違いなどを“見える化”し、下記のような検討・支援を可能とした、関係者間の合意形成を容易とするためのツールです。

- ①事故発生要因の分析　：事故シーンを可視化し多角的な視点から要因を分析
- ②対策案の企画・検討　：企画する対策案の有効性の精度を向上
- ③対策効果の検証・評価　：運転者・歩行者など様々な目線から対策効果を検証・評価

支援①　事故発生要因の分析　～リスク評価～

事故危険箇所での主な発生事故を対象にその発生挙動を見える化し、運転者・歩行者など、様々な目線から、事故要因・必要な対策案の立案に向けた基本的な対策原因を把握することに活用できます。想定外の事故要因の特定などに役立ちます。

＜ 運転者の視点 ＞

対向車両から見た事故状況

＜ 歩行者の視点 ＞

歩行者から見た事故状況

支援①イメージ図（事故発生過程における様々な目線からの挙動把握）

事故対策の企画・検討・対策効果の評価

支援②　事故対策案の企画・検討　～対策案の有効性の精度向上～

事故要因の改善に向け、必要な対策案を企画し、対策案の狙いや内容の調整等、対策案の有効性の精度を向上させ、関係者間で認識を共有するために活用できます。

支援③　対策効果の検証・評価　～整備効果の事前体験～

運転者・歩行者など、様々な目線から対策効果を検証するため、対策前後での改善内容を視覚的に把握することで、整備効果の事前評価を実施し、関係者とのスムーズな共有・合意形成を図る場面で活用できます。

＜ 自動車・運転者の視点 ＞

対策前（カラー舗装）　　対策後（ライン舗装）

右折車両

カラー舗装が消えて認識できない…　▶　ライン舗装で右折方向を認識できる！

対向直進車両

【対策】カラー舗装 ⇒ ライン舗装

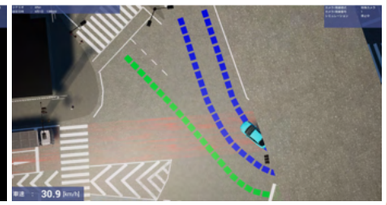
● 誘導の安全性を向上させることで車線誤認をなくし、右折時事故を抑制！

＜ その他の視点　- 対策後（ライン舗装）- ＞

●雨天時

●歩行者

●上空



支援②・③イメージ図（対策案の様々な目線からの検証・評価）